

福知山市議会「産業建設委員会」 行政視察研修報告書

- 1 視察日程 令和5年8月8日（火）～ 9日（水）

- 2 視察先及び調査項目
 - (1) 兵庫県姫路市
「ウォーカブルな駅周辺中心市街地の整備と、過疎エリアも含めた地域公共交通の整備」
 - (2) 渋谷キューズ（東京都渋谷区）
「渋谷キューズの事業内容および福知山市としての活用の可能性」
 - (3) 茨城県小美玉市
「四季文化館みの～れ開館までの流れと自主事業や市民参画のあり方」

- 3 参加委員
小松 遼太（委員長）、イシワタ マリ（副委員長）、片山 正紀、塩見 聡、足立 治之、大谷 洋介、中村 初代、高橋 正樹 （8人）

- 4 視察経費 総額 473,280円（1人あたり 59,160円）

- 5 調査報告
別紙のとおり

視 察 日	令和5年8月8日（火）
視 察 先	兵庫県姫路市 人口 522,201人（令和5年11月1日現在） 市面積 534.35 km ² 議員定数 45人
調査項目 施策・取組等	ウォーカブルな駅周辺中心市街地の整備と、過疎エリアも含めた地域公共交通の整備
視察理由 事前研究等の概要とそれに基づく調査項目・視察先の選定理由等	7月25日産業建設委員会（勉強会）において、都市交通課に本市都市計画マスタープランにあるウォーカブル区域（滞在快適性等向上区域）のことや本市地域公共交通計画などについて事前レクを受け、意見交換等を行う。 本市担当課も先進地として姫路市のウォーカブルなまちづくりを参考にしており、ほこみち制度（歩行者利便増進道路制度）駅周辺の整備など回遊性を高める仕掛けなどについて学びたいので姫路市を視察先に選定。
調査概要 調査項目の施策・取組等の実施状況等	① ウォーカブルなまちづくりの取り組み（駅周辺整備前後の話を中心に）車両通行禁止のトランジットモール導入、姫路市ウォーカブル推進計画、ウォーカブル促進プログラム（ワンストップ窓口）今後についてなど ② 大手前通り再整備・エリア価値向上の取り組み ほこみち制度、運営体制について、アンケートやヒアリング調査結果など ③ 姫路市の公共交通について バス、タクシー、鉄道、船、コミュニティバス、デマンド型乗合タクシー、サイクル&バスライドなどについて ④ 駅周辺現地視察
考察・効果	① 駅周辺整備の最初の計画が6、7割アンケートで悪いとなった時、姫路駅北駅前広場整備推進会議を立ち上げ、議論を重ねて計画を変えた市民参画と柔軟性が重要。 ② 市民と行政の関係性で市の公共施設や道路使用において、「できない」理由を探すのではなく、「できる」「変える」「緩和する」という行政側の姿勢が大事。姫路市は個人でも通行止めができるなどウォーカブル促進のためのワンストップ窓口がある。 ③ 市民主体で街中や通りで様々な取組をされており「ウォーカブルによる、まちなかの活性化」に繋げている。 ④ 民間も適切に投資をし、行政は民間の事業意欲や活用アイデアを適切に把握しながら規制緩和措置等に尽力し、公民の信頼関係を構築している。 ⑤ 戦後復興事業により駅から姫路城に続く「大手前通り」の整備に取り組んだ先見の明が大事。50年先を見据えたまちづくりの視点。 ⑥ 公共空間利活用の仕組みづくりの社会実験をするには熱意のある自治会長が鍵となる。

<ul style="list-style-type: none">• 政策提言への反映• 本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題）	<p>人口規模などは違えど、まちなかの回遊性を高めるために規制緩和、ワンストップ窓口、社会実験、ほこみち制度などを導入しウォーカブル推進を進めることは可能だと感じた。可能ではあるが、本当にウォーカブルな街を推進するには、住民や自治会長の協力と事業者のまちづくりへの前向きさとしつこさと、行政の働きかけと規制緩和など道を使いやすくする仕組み化、バックアップが重要。</p>
---	---

視 察 日	令和5年8月8日（火）
視 察 先	SHIBUYA QWS（渋谷キューズ） 東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア（東棟）15階
調査項目 施策・取組等	渋谷キューズの事業内容および福知山市としての活用の可能性
視察理由 事前研究等の概要とそれに基づく調査項目・視察先の選定理由等	福知山市は、起業支援を目的とする「NEXT産業創造プログラム」の内容拡充のために、令和5年4月より、SHIBUYA QWSに会員として加入している。本施設の事業内容や趣旨、本市の実情に合った活用の可能性を考察するために視察先として選定。
調査概要 調査項目の施策・取組等の実施状況等	【事業内容】 「Question With Sensibility（問いの感性）」の頭文字を名称とし、「常に問い続けることが、新しい価値につながる原点になる」とのコンセプトを掲げるSHIBUYA QWS。コワーキングスペースとしても活用されるフロア内では、会員がさまざまな「問い」をたてながら思い思いに過ごしている。大手企業やスタートアップ事業者、大学、全国の地方自治体など117団体（令和5年10月現在）が会員として加入し、多様な人材同士の交流が起りやすいしくみになっている。本施設は渋谷駅に直結し、東急（株）、東日本旅客鉄道（株）、東京地下鉄（株）が共同で取り組んだ再開発ビル「渋谷スクランブルスクエア」15階に位置する。福知山市関係者（在住者、事業者、教育機関、出身者など）は同時に4名まで無料で使用できるほか、主催イベントを月1回まで開催することもできる。

<p>考察・効果</p>	<p>【福知山市関係者による視察先の活用状況（視察後の状況）】 福知山市は、福知山公立大学から引き継ぐかたちで入会し、関西初の自治体会員となっている。4月の加入から10月10日までの時点で、福知山市関係者の利用は延24人（実数17人／内訳は事業者11人、公立大学関係者5人、市職員1人）。主催イベントの例としては「福知山市×農業ベンチャーSeason 辛いくない！京野菜：万願寺とうがらし～廃棄ロス活用アイデアワークショップ～」(8月30日)など。</p> <p>【福知山市の期待および他会員からの期待】 産業政策部産業観光課は福知山市のSHIBUYA QWS入会目的を「起業家や起業支援関係者とのネットワーク構築、市内事業者のイノベーション創出」としており、「産業創造や企業誘致のきっかけとなる関係人口の創出」への期待を寄せている。また、SHIBUYA QWS会員企業側としても地方自治体とのネットワークに期待を寄せる企業も多いとのことである。</p> <p>【所感】 本市が期待する「ネットワーク構築」や「イノベーション創出」は一足飛びにおこるものではなく、視察先の趣旨からいえば「問い」を軸とするコミュニケーションの地道な積み重ねのプロセスの先にこそそういった成果が見えてくるはずである。 視察研修後多くの委員から「本市関係者がSHIBUYA QWSに常駐し主体的なコミュニケーションを日常的に取らなければ求める成果が得られないのではないか」との意見が多くあがった。</p>
<p>・政策提言への反映</p> <p>・本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題）</p>	<p>【その後の委員会活動と政策提言への展望】 10月19日、SHIBUYA QWSの活用状況や「NEXT産業創造事業」との関連性について、福知山市産業政策部産業観光課から説明を受けた。「今後も継続して予算執行していくのであれば、ただ入会するだけではなく、併せて本市関係者を常駐させるしくみを考案するべきでは」との趣旨から、執行部への政策提言をおこなうことも視野に入れ、委員会として協議していきたい。</p>

視 察 日	令和5年8月9日（水）
視 察 先	茨城県小美玉市 人口 48,863人（令和5年11月1日現在） 市面積 144.74 km ² 議員定数 20人
調査項目 施策・取組等	四季文化館みの～れ開館までの流れと自主事業や市民参画のあり方
視察理由 事前研究等の 概要とそれ に基づく調査 項目・視察先 の選定理由等	7月25日産業建設委員会（勉強会）において、福知山市新文化ホール整備基本構想・基本計画の検討委員会が出た意見や、パブコメで出た意見を事前に担当課レクと意見交換を行う。検討委員会内でも類似施設として挙げられていることから視察先として選定。
調査概要 調査項目の施 策・取組等 の実施状況等	① 開館に至るまでの経緯 ② 開館前や建設に至る過程の市民の声の活かし方。否定的な声を含めて。 ③ 同じ市の中に3つのホールがあるが、利用用途や棲み分け、現状の成果と課題などについて。 ④ ハード面の整備経費と運営の手法と経費（ランニングコスト）について ⑤ 席数についてメリットデメリット ⑥ 稼働率を上げる仕組みについて など
考察・効果	① 対話の文化を重要視し、文化を育む行政の姿勢が秀逸で、市民参画の先の市民主導のホールを目指している。「私たちが作った」という意識を持つ市民をどれだけ増やせるかが鍵。 ② 文化ホール利用者は圧倒的に女性。女性参画の視点でも重要。 ③ 利用で多いのはピアノ発表会、講習会、シンポジウム。後者2つは駐車場が広いという利点があるため。 ④ 人件費を省いた建物のランニングコストは5000万円～6000万円／年間 ⑤ 文化振興は収益性ではなく、公益性の面があり小美玉ではインフラの一つとして捉えている。 ⑥ みの～れのハード整備費用は、本体工事、舞台、照明装置、外構、植栽工事等全て含む総事業費は29億7千万円。緞帳はいらないという決断をするなど削るところは削っている。 ⑦ トイレは女性の敷地を広くして好評。公演によっては男性トイレも女性用にできるようになっている。

<ul style="list-style-type: none">• 政策提言への反映• 本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題）	<p>音響照明は本物であることが大事。クオリティーが高い舞台上で子どもが演じている姿を見て建ってよかったとなったというエピソードも。</p> <p>建築延床面積が4819㎡、大ホールの座席数が600席と福知山市が計画している新文化ホールと同規模であるが、外の余裕のある空間、駐車場の広さは似ていない。また対話の文化も現状福知山市ではうまく進んでいない。稼働率が80%から90%と市民のためのホールとなるためには、市民参画、対話の文化を取り入れることが大事。ハードもソフトも「住民と行政の共創」を取り入れる必要がある。</p> <p>また駐車場については軽視せず、人が簡単になんの動機もなしには歩かないので、ウォークアブルの視点も含めて検討が必要。</p>
---	---